

The 40th 第40回東京モーターショー2007

TOKYO MOTOR SHOW 2007

News vol.4



平成19年10月28日

世界に、
未来に、
ニュースです。

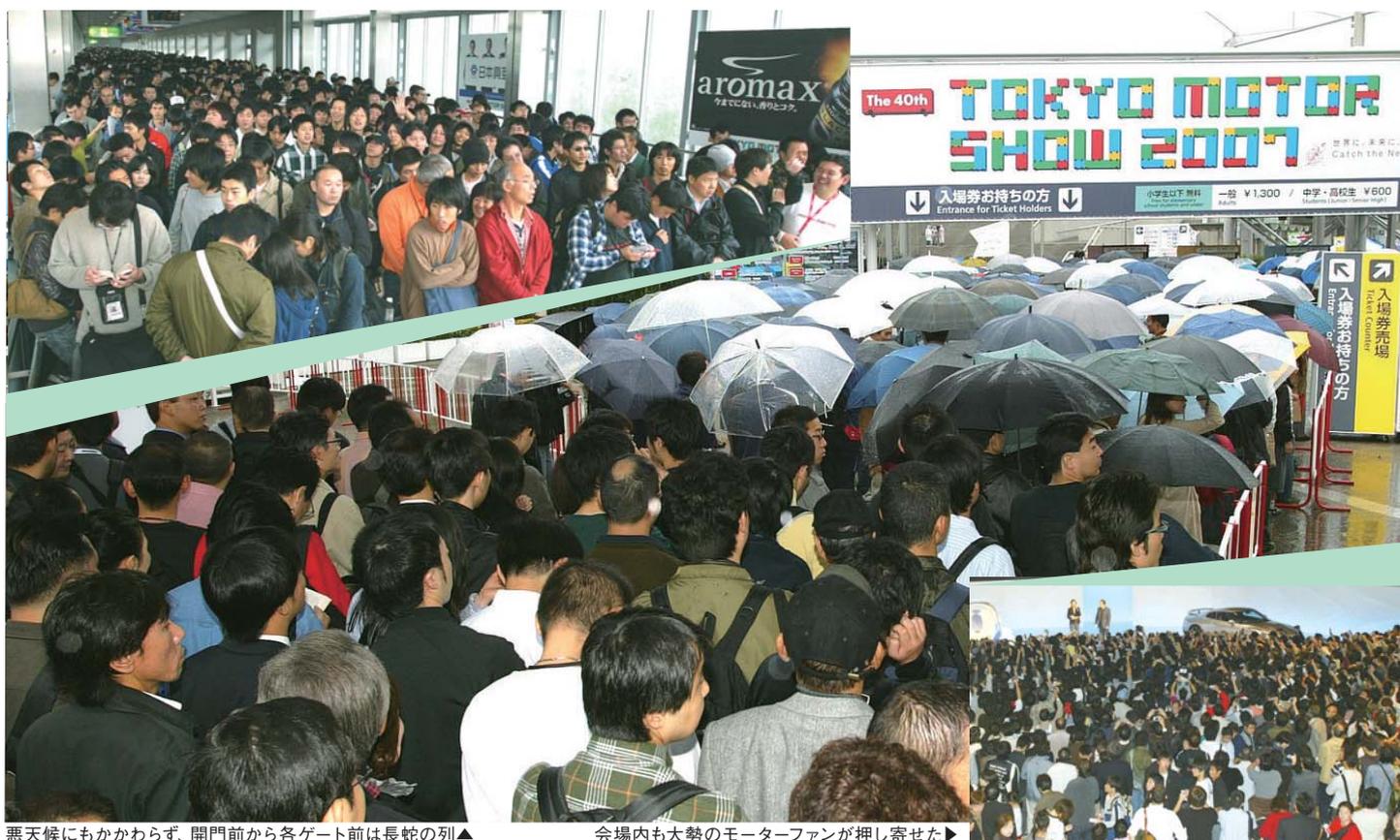
Catch the News,
Touch the Future.



第40回東京モーターショー 一般公開

悪天候の中を 需要喚起の期待を乗せて

第40回東京モーターショーが10月27日、一般に公開された。会場の千葉・幕張メッセは台風20号の影響で早朝から激しい雨に見舞われたが、あいにくの空もようにもかかわらず、開門と同時に大勢のモーターファンが続々と押し寄せた。国内の自動車市場は若者のクルマ離れなどを反映して低迷気味だが、会場内の各ブースは初日から若者を中心に人垣ができるほどの活気に満ちあふれていた。



悪天候にもかかわらず、開門前から各ゲート前は長蛇の列▲

会場内でも大勢のモーターファンが押し寄せた▶

午前9時30分の開門前から幕張メッセの常設駐車場と直結する西1ゲートをはじめ、6カ所ある各ゲート前はどこも長い列ができ、午前中には幕張メッセ常設駐車場がほぼ満車状態となった。

西1ゲートの最前列に早朝の5時過ぎから並んでいたという20代の男性は「高速道路が混雑するといけなので、深夜に静岡からマイカーでやって来たが、すでに、たくさんのクルマが駐車していてびっくりした」と語っていた。また、JR海浜幕張駅に近い北1ゲートから開門と同時にすべり込んだ30代の男性は「いろいろな車種の4WDに試乗体験できると聞いて早くから並んでいた」と、気合いのこもった表情で整理券を配布する南休憩ゾーンへ小走りで行っていった。

今回は4WD車をはじめ、クリーンエネルギー車、セーフティド

ライブ体験など5つの試乗会を実施しており、「クルマの夢、楽しさ、素晴らしさ」を数多く体感できるのも魅力的である。

会場内では、家族連れから若者、女性など幅広い層の来場者が1日中楽しめるイベントが目白押し。初日から午前中は、青少年向けの「モーターサイクルスポーツスクール」を実施したり、午後には「みんなで考えよう クルマの税金」というテーマでシンポジウムも開かれた。また、展示ブースでは、話題の次世代スポーツカーに熱狂的なファンが殺到し、「入場規制」のプラカードを手にした係員が汗だくになって来場者の誘導にあたるシーンもみられた。

悪天候にもかかわらず、初日の入場者数は前回(2005年、8万4,000人)を上回る8万9,900人に達し、需要喚起への期待感が持てそうな幕開けである。

燃料電池、電気、水素エンジン、ハイブリッド—— 最先端の環境技術をナマで体験できるチャンス

幕張メッセ近隣の幕張海浜公園D・Eブロック内の特設専用コースにおいて、東京モーターショー最終日までの毎日11時から16時の間、最新の環境テクノロジーが盛り込まれた「クリーンエネルギー車同乗試乗会」が行われている。

用意されるクリーンエネルギー車の種類は、乗用車が水素から電気エネルギーを取り出す燃料電池電気自動車、水素を直接燃やしてエネルギーを得る水素エンジン車、バッテリーに充電した電気エネルギーで走る電気自動車、通常のエンジンと電気モーターを併用して走るハイブリッド車の4種類。大型車は燃料電池車、植物や動物の油脂分から作られたバイオ燃料を使うバイオディーゼル車が用意されており、こちらは商用車同乗試乗会にて体験できる。

前回に比べ、一般ユーザーへの普及が進んだハイブリッド車が大幅に減り、かわりに太陽エネルギーなど再生可能エネルギーの利用技術として有望視されている水素を使った燃料電池車が増えるなど、より「未来志向」となっているのが特徴だ。燃料電池車や電気自動車はエンジンを搭載せず、走行するときの騒音は、ロードノイズ以外ではモーターやインバーターのわずかな音のみ。一般ユーザーが普段乗っているクルマとの違



今や普及期に入ったハイブリッドカー



純電気自動車
R1eはとても静か



次世代低公害車の本命
燃料電池車



世界でも珍しい水素エンジン車



クリーンエネルギー車の意外にパワフルな走りは新鮮な印象

いがとくにわかりやすいとあって、人気を博していた。

一般公開日初日の10月27日は雨の降りしきるあいにくの空もようだったが、家族連れで訪れていた男性は「燃料電池車は想像以上に静か。早くこういうクルマが普通の人でも買える時代が来てほしい」と、将来技術を高く評価した。

クリーンエネルギー車同乗試乗会 試乗車リスト

種類	メーカー	車名
燃料電池車	トヨタ自動車	トヨタFCHV
	日産自動車	X-TRAIL FCV
	本田技研工業	Honda FCX
	ダイムラー・クライスラー・日本 (メルセデス・ベンツ)	F-cell
	トヨタ自動車	FCHVバス
電気自動車	富士重工業	スバル R1e
	三菱自動車工業	i-MiEV
ハイブリッド車	本田技研工業	CIVIC HYBRID
水素自動車	マツダ	マツダRX-8 ハイドロジェンRE
バイオ燃料車	東京都・新日本石油・日野自動車・トヨタ自動車 4社共同	第2世代バイオディーゼル燃料 (BHD) HVバス

A VIEWPOINT of REPORTERS

◎ 記者の目

「アジア圏での関心の高さに 将来の方向性を感じた」

日刊自動車新聞社「Mobi21」
村上 祐司 副編集長



このところの環境、安全指向に加え、総じて今回のショーではクルマに乗る楽しみを訴えかけるブースが多い印象を受けた。例えばスポーツカーへの一種の回帰や、IT技術を使いこなした上でのクルマ生活の楽しさを提案したりと、一般ユーザーからしても分かりやすいブース展開だったと思う。プレスデーではアジア各国からの来場者の多さが目に付いた。ということは、モーターショーを舞台にしたメーカー側の情報発信もこれからは国内向けだけではなく、イスラム圏も含めて、アジアにもっと目を向けたプレゼンスのあり方を工夫していけば、アジア圏でのビッグなモーターショーとして将来さらに伸びていく余地を感じる。

屋外車体展示

幕張メッセ会場・西1ゲートに入って左に折れると屋外展示場。10月30日まで、トラックの荷台架装車や特装車など車体メーカー7社の多彩な“働くクルマ”たちが展示されている。一般公開日初日はあいにくの雨だったが、巨大トレーラーのダンプアップや超高所はしご車の実演操作が来場者の人気を呼んでいる。

極東開発工業

1台積み車両運搬車「フラットトップZero」と「大型強化リアダンプ」に計量装置付きごみ収集車「スケールパッカー」の3台を、「近未来のデザインと先進の機能をトコト追求!!」をテーマに展示している。「フラットトップZero」は、リモコンのボタン操作ひとつで油圧機構によってテールゲートを自動開閉できる。荷台接地状態に応じたオートテールゲートの実現は業界初という。土砂仕様の「大型強化ダンプ」には普通鋼の3倍以上の強度を持つ特殊鋼（ウェルハード400）をボディに採用、「スケールパッカー」は携帯電話でごみ収集の計量データが送受信できる。



新明和工業

「気がつけばそこに、新明和」をテーマに、テールゲートリフター「ツインゲート」、車両運搬車「セフティキャリア」（3トン車級）、スライドボディ付きダンプトラック「ローダダンプ」（同）、軽トラック用の脱着ボディトラック「アームロールEZ」と、それぞれ圧縮式、回転板式の塵芥車「G-PXタウンパック」、「G-RXルートパッカー」の計6台を出品。「ツインゲート」は、走行時のプラットホームが用途に応じて床下と起立2パターンの格納選択ができる。「セフティキャリア」は、フロントノーズの低い車でもスムーズな乗込みを可能にするゲットオンシステムをオプション装備。



モリタ

消防車を造りつづけて、今年で100周年。今回ショーには主力製品の「はしご車」と、世界に先駆けて開発した「消防車」の2台を出品している。「CD-I TYPE FFA」というネームの消防車とは、消防と救急の2つの機能を兼ね備えた多用途車両。普通消防ポンプ車並みの毎分2,000リットルの放水能力を発揮する一方、普通救急車と同等の患者搬送スペースを確保している。また、はしご車の「SUPER GYRO LADDER MLK4-30」は海外向け仕様車で、高さ30メートルまで伸びるはしご（4節）をわずか20秒で延伸可能だ。高所でのゆれを防ぐ制震自動制御装置も付いている。



小平産業

「アンチコ071 バーチカルダンプトレーラ」、「FLAT SMALL022 リフトアクスル付フロアスライダートレーラ」のバラ積み緩和（車両総重量36トン）セミトレーラ3軸車を実演展示。いずれもブレーキ制御を電気信号で行うEBSを装備、トラクターのブレーキペダルを踏んでからのタイムラグを短縮したことで、トラクターへの突き上げをおさえて“ジャックナイフ現象”を防止するという。他に22トンシャーシ使用のロングボディ「SPダンプ」を展示。



タダノ

今回は車両搭載型クレーンの原点に帰り、①軽量コンパクトを徹底②高品質で経済性と環境対応に配慮③安全性と使いやすさの両立—をコンセプトに開発中の中型車用新型カーゴクレーン「Zest」3台、電動式カーゴクレーン「新型ZEROHAN」2台を参考出品している。他に国内ベストセラー機種のカーゴクレーン「Rac」と車両運搬車「エスカ」の計7台を展示。「Zest」の市販は来春を予定している。



トヨタ車体

トヨタの「ヴォクシー」、「ハイエース」を車いす仕様仕立てた福祉車両2台を展示。「ヴォクシー」は車両後部のスロープを使って、車いすに乗ったまま楽に乗り降りができるタイプ。電動ウィンチとフラット床面で、車いす乗車者、介護者の両方に優しいクルマ。「ハイエース」の方は車両後部のリフトを使って車いすのまま乗降でき、セカンドシートへの移行や車内のウォークスルーも容易。（※同社製品は北ホール車体メーカーコーナーにも展示）



富士車輛

塵芥収集車の専門メーカーが今回ショーに送り出したのは、長年培ってきたゴミ圧縮技術を生かした世界初の軽自動車タイプの機械式塵芥収集車「ロータリーミニ」。最大積載量は350キログラムで、ボディはオールステンレス製。狭小な道路も楽に走りまわれ、これまで軽トラックでの塵芥回収で課題となっていたゴミの飛散や積み込み効率の悪さを解消できるという。サイドボックスは75リットル×2という大容量収納スペースを標準装備。



自工会のすべてがわかる「JAMA情報発信&インフォメーションブース」 “とくとく情報”もゲットできる会場内の“お助けマン”

東京モーターショーを主催する日本自動車工業会(JAMA、自工会)のインフォメーションコーナーが2階・中央モールの中央ホール前に設置されている。このブースでは、「環境」や「安全」、「税金」問題など、日頃、自工会が取り組んでいる活動のすべてをビデオ映像や広報パンフレットなどでわかりやすく紹介。また、会場内のインフォメーションの機能としても、各種のイベントの開催場所などを女性スタッフが親切に案内してくれる。



さらに、このブースにすれば、“とくとく情報”もゲットできる。例えば、地球温暖化防止のためのCO₂削減運動の「チーム・マイナス6%」に、来場者が「チャレンジ宣言」に参加して「宣言カード」を持参すれば、会場内で販売しているオフィシャルグッズが販売価格の5%OFFになる。自工会も「チーム・マイナス6%」に協賛しており、このパソコンでも「宣言カード」を発行しているため、グッズの購入希望者で「宣言カード」をお持ちでない方は、購入前にこのブースに是非、お立ち寄りを。



オフィシャルグッズショップ お土産、記念グッズ購入はこちら



出品者プレミアムグッズショップ 早い者勝ち! マニアも喜ぶレアものグッズが多数

幕張メッセ北1ゲート、西1ゲート、やすらぎのモールの3カ所に、第40回東京モーターショー2007の会場限定オリジナルグッズを販売するオフィシャルグッズショップが設置され、好評を博している。モーターショーのロゴをあしらったキャップ、Tシャツ、マグカップなど定番商品のほか、今回ラインナップに加わった会場限定フィギュアやモーターショーのTシャツを着た熊のぬいぐるみの人気も高い。

中央ホールと北ホールの間にあるタイヤ・オーディオ館の外周には、出品者のオリジナルグッズを販売する出品者プレミアムグッズショップが開設されている。マニアも喜ぶレアものグッズも多数売られているとあって、店舗の前には常時、長蛇の列ができています。人気のオリジナルG-SHOCKなど、品切れの商品も続出。プレミアムグッズをゲットする場合、できるだけ早めに訪れたほうがよさそう。

EVENT

今日のイベント(予定)
10月28日
(日)

- **少年少女モーターサイクリススポーツスクール** (中央休憩ゾーン)
午前の部/10:00~12:05 一試乗券配布 9:30~
午後の部/14:00~16:05 一試乗券配布 12:30~
- **4×4 アドベンチャー同乗試乗会** (特設専用コース)
11:00~16:00 幕張海浜公園Gブロック内
- **セーフティドライブ体験試乗会** (特設専用コース)
11:00~16:00 幕張海浜公園Gブロック内
- **スロットカー・サーキット**
9:30~19:00 (北ホール2階・キッズパーク)
- **クリーンエネルギー車同乗試乗会** (特設専用コース)
11:00~16:00 幕張海浜公園D・Eブロック内
- **ミニシアター〜クルマの夢・楽しさ・素晴らしさ〜**
10:40~12:25 (国際会議場3階 302号室)
13:05~18:30 (国際会議場3階 302号室)
- **商用車同乗試乗会** (幕張メッセ南休憩ゾーン東側通路発着)
11:00~16:00 幕張メッセ周辺公道

※試乗券配布場所: 幕張メッセ南休憩ゾーン西側 ※天候等の都合により予定が変更になる場合があります。

毎分**65**枚フルカラー出力 印刷から加工までインラインで高速処理。多様なニーズに応えるハイパフォーマンス。

フルカラー・オンデマンド高速印刷システム ON DEMAND PUBLISHER C65

The essentials of imaging

このニュースは、コニカミノルタ ON DEMAND PUBLISHER C65で出力しています。

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社
プロダクションプリント事業部
TEL. 03-5205-7820
URL. <http://konicaminolta.jp/pr/odp>